

第 18 回シンポジウム開催報告（2025 年 5 月 24 日開催）

研究普及委員会

『人間中心の情報システムの追求と実践 ～浦昭二記念賞（2024 年度）の優れた事例に学ぶ～』をテーマに情報システム学会第 18 回シンポジウムを 2025 年 5 月 24 日に青山学院大学青山キャンパス総研ビルにて、ハイブリッド（オンライン含む）で開催しました。参加者は、正会員、賛助会員合わせて 39 人、非会員 6 人、計 45 人（会場参加：36 人、オンライン参加：9 人）でした。

今回は 2024 年度浦昭二記念賞を受賞された 4 名の方々に、今回のテーマに沿って、ご講演いただきました。講演者情報、講演タイトルを以下に報告いたします。

- ・講演 1 宮川裕之氏 青山学院大学社会情報学部長・教授
「広義の情報システムと人材育成 ― DX 時代における情報システム学の社会実装」
- ・講演 2 江口祐輔氏 麻布大学教授
「野生動物の視点から考えるヒトと動物の共存環境」
- ・講演 3 内田勝也氏 情報セキュリティ大学院大学名誉教授
「ノンテクニカルセキュリティ～非技術でのセキュリティ対応～」
- ・講演 4 青野慶久氏 サイボウズ株式会社代表取締役社長
「情報共有システムが作り出す新しい組織」

4 つの講演内容は、各視点が異なる中でその意義、独自性と活動期間、努力などが簡潔に述べられて、大変、優れた事例内容でした。夫々が、正に人間中心の情報システムの追求と実践の相応しい内容でありました。

その後、講演者された 4 名の方々に伊藤新会長を交えて、以下の主旨でフランクに座談会を実施いたしました。「～情報システムの未来を志向～ 生成 AI の急速な進歩で益々、データ・ドリブンな社会になりつつあると感じられる。「人間中心」をいかに実現していくか、そのために何をすべきか。」の主旨で、短い時間でしたがご意見を伺いました。

講演と座談会の内容についてのアンケート結果では、「一人 30 分では短いのではと思ったが、簡潔に要点をお話しいただいたので返ってどの講演も印象に残って良かった。」「いろいろな話が聞けて、とても楽しかったです。」「幅広い視点での考察が非常に参考になりました。」、などの意見が寄せられました。

以上、ご報告いたします。

ご参加された方々、ご支援いただいた方々、皆様、ありがとうございました。